ニッポン・ニュー・マーケット-「ヘラクレス」

平成 21 年 1 月 27 日
株式会社アイレップ（証券コード：2132）
代表取締役社長 COO　紺野俊介

報道関係者各位
プレスリリース

アイレップ SEM 総合研究所、2009 年 検索エンジンマーケティング業界の展望を発表

株式会社アイレップ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 COO：紺野俊介、証券コード：2132、以下アイレップ）SEM 総合研究所は、2009 年の検索エンジンマーケティング（SEM）業界における展望を発表します。SEM 専門企業アイレップならではの視点で予測しました。

企業の広告・マーケティング手法として重要度を増し続ける SEM において 2009 年はどのような変化が起きるのでしょうか。企業の広告・マーケティング担当者はこの動向に注視し、施策を考える必要があります。

そこで、アイレップ SEM 総合研究所では 2009 年の SEM 市場における最重要と予想されるトピックス 5 つを選定しました。選定にあたっては日本の SEO の第一人者でもある SEM 総合研究所 所長の渡辺隆広を中心に討議を重ね、影響度の高いものを選定いたしました。また各々のトピックにつき、解説を付記しています。

1．ユニバーサル検索とパーソナライズ検索の拡大

過去の検索履歴、同一セッション行動、ジオロケーションなどユーザに紐付く各情報を活用することで、個々のユーザにあわせた検索結果の個別化は引き続き拡がっていくと予想されます。これに加えて、ユニバーサル検索による多種類のデジタルコンテンツの混在表示、さらにユーザの検索行動トレンドを反映した時間帯別の検索結果の変化により、今年以降、ユーザにとっての検索体験が質的に高まっていくと考えられます。Google は従来同様、アルゴリズムを駆使した検索結果の関連性を高めることを目指し、Yahoo! JAPAN は自社が持つ強みの 1 つであるサービスプロパティ、編集されたコンテンツ群を活用した検索サービスの質的向上を目指していくでしょう。

2．　SEO の相対的な重要性が上昇

企業が広告出稿を抑制していく中、継続的な広告費用の投下をせずとも安定して自然トラフィックを集められる SEO の重要性が相対的に高まる見込みです。一方で、成果獲得や順位上昇・維持への貢献が不明瞭な、メディアサイトを中心とした過剰なリンク売買は昨年来継続的に行われている、検索エンジン側の取り締まりの浸透により抑制されることも予

想されます。

3．ランキングの相対的重要性が大きく低下

先に触れたパーソナライズ検索やユニバーサル検索、さらに今後の登場が予想される、検索利用者側の評価や信頼をランキングに取り込むソーシャル検索はいずれも、個々のユーザにあわせた検索結果のパーソナライズ化を推し進めると同時に、これまでの常識であった「同じキーワードであれば、誰が見ても同じ検索結果」の概念の崩壊を招きます。今後も１つの指標として検索順位は重宝され続けますが、真の費用対効果を見極めようとするマーケティング担当者は、順位や誘導数、成果数などの複数の指標を総合的に検証して判断する必要に迫られるでしょう。

4．検索連動型広告の精度が更に向上

検索各社による、適正な広告価格を決定するためのシステムや、ユーザの検索行動目的と広告の関連性を高めるための広告システムの改良は 2009 年も引き続き行われていく見込みです。大幅なシステム刷新の可能性は低いですが、ユーザの検索意図への広告ターゲティング精度を高めるための判定条件の追加は行われるかもしれません。

5．自動入札管理ツール導入が本格化

2008 年はリスティング広告の自動入札管理ツールが日本に導入された年でした。2009 年は日本の広告主特有のニーズに対応したローカライズが進むことで運用業務の高度化・効率化が進みそうです。同時に広告代理店は、ツールの特性を活かした、費用対効果を高めるための戦略的な導入・運用のプランニングが要求されるようになり、ノウハウが乏しい代理店の競争力は低下していくでしょう。

以上

■株式会社アイレップ SEM 総合研究所について

アイレップは SEM（検索エンジンマーケティング）専業企業（※1）として日本トップの売上高実績（※2）を持つ、SEM サービスのリーディングカンパニーです。検索連動型広告、SEO、Web 解析、LPO（ランディングページ最適化）まで、SEM 関連の専門サービスをワンストップでご提供しております。SEM 総合研究所は、株式会社アイレップが 2004 年 6 月 1 日にサーチエンジンマーケティングに関する専門的な研究を手がけるシンクタンクとして設立した研究所です。日本最先端の SEM のノウハウ・情報を有するアイレップでは、今後も有益な最新情報を継続的に提供して参ります。

(※1)SEM 専業の定義＝リスティング広告、SEO 等の SEM サービス売上が全体売上の 70%以上の事業者

(※2)2008 年 7-9 月の売上高ベースによる当社推定

―― 会社概要 ――

【社名】　：株式会社アイレップ

【所在地】　：東京都渋谷区渋谷２丁目１番１号 青山東急ビル
【URL】　　：http://www.irep.co.jp/
【代表者】　：高山雅行　紺野俊介
【設立年月】：1997 年 11 月
【資本金】　：5 億 3,514 万円（2008 年 9 月末現在）
【事業内容】：

- インターネットマーケティング領域

  SEM サービス

  ・リスティング広告
  ・SEO（検索エンジン最適化）サービス
  ・Web 解析サービス
  ・LPO（ランディングページ最適化)サービス

  モバイル SEM サービス

  ・モバイル リスティング広告
  ・モバイル SEO サービス
  ・モバイル Web 解析サービス
  ・モバイル LPO サービス

  インターネット広告

  サイト売買仲介事業（サイトストック）

- バーティカルマーケティング領域

  シニアマーケティング事業（株式会社あいけあ）

  ・有料老人ホーム紹介サービス
  ・有料老人ホーム専門ポータルサイト（あいけあ）
  ・有料老人ホームマーケティング支援サービス
  ・介護人材紹介サービス

  住宅展示場サイトの運営（総合住宅展示場）

【本件内容・記事転載・引用等に関するお問い合わせ先】
●株式会社アイレップ
TEL：03-5464-3281 FAX：03-5464-3291
【報道関係お問合せ先】広報担当　毛利　E-MAIL: pr@irep.co.jp
【サービス内容に関するお問合せ先】 E-MAIL: contact@irep.co.jp